

3. 構造物が地下水に及ぼす影響

今回のマッチング解析で得られた解析モデルを用いて、地下にトンネルを施工した場合の予測計算を行った。

3-1 解析条件

トンネル設計条件：外径 14m のシールドトンネルを 2 本並列に設置

坑口部は、通水管設置により流況阻害を防止

構造物の設置位置 4 ケース（解析ケース 1～解析ケース 4）

・基本的な設置位置：地下水流の代表的な流動環境のそれぞれに配置

深さは、通常の地下建設を想定した標準的な深さに設置

解析ケース 1	西 東の流動環境に対応	解析ケース 3	北 南の流動環境に対応
解析ケース 2	地表水が集まりやすい流動環境に対応	解析ケース 4	東 西の流動環境に対応

